

弘前市人口ビジョン《概要》

弘前市の人口の現状分析

1. 人口の推移

- ① 1995（平成7）年の194,197人をピークに減少
- ② 自然動態（出生・死亡数の推移）の推移
出生数が微減傾向、死亡者数が横ばいで、ここ数年は毎年死亡が出生を約1千人超過
- ③ 合計特殊出生率の推移
人口維持の目安2.07に対し、平成以降の年代が含まれる本市の最高値は1.45
- ④ 社会動態（転入・転出数の推移）の推移
近年は毎年400人前後の転出超過で推移しているが、2018（平成30）年は832人と転出超過が大幅に増加
- ⑤ 年齢階級別人口移動の推移
20歳から24歳の階層の転出が顕著
- ⑥ 産業別就業者数の推移
第3次産業の就業者数が維持されている中で第1次産業は一貫して減少
第2次産業は2000（平成12）年を境に減少

2. 推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

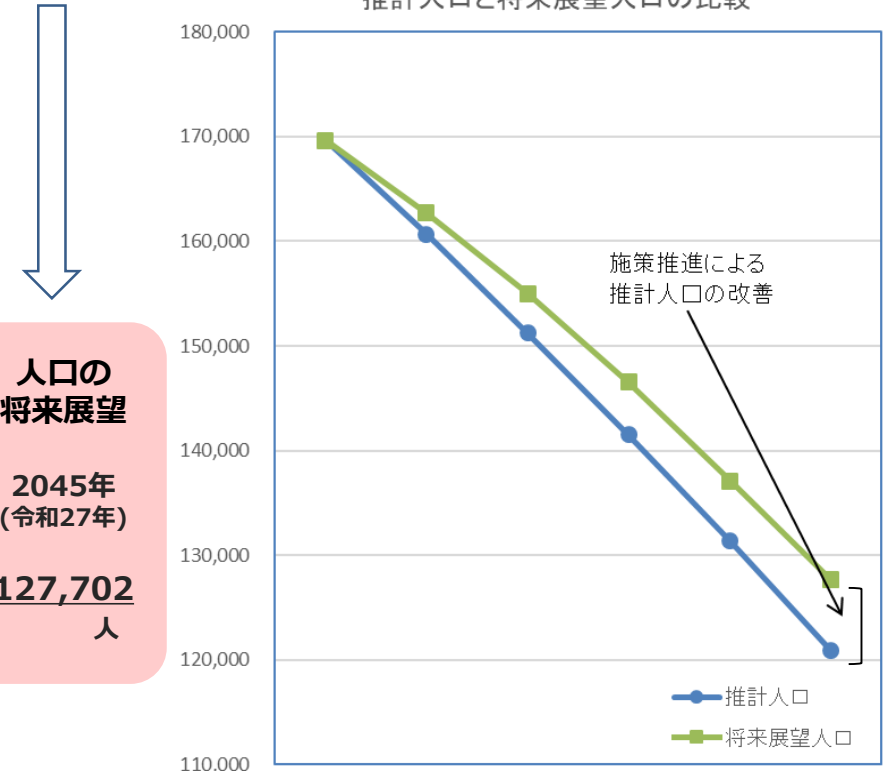
- ① 2045（令和27）年に人口は**120,919人**
- ② 年少人口は微減、老年人口は横ばいとなっている中で、生産年齢人口の減少が顕著

弘前市の人口の将来展望

将来展望の仮定

- ① 2045（令和27）年の合計特殊出生率を、平成以降の年代が含まれる最高値1.45に上昇
- ② 全世代の生残率を全国の中央値まで引き上げ
- ③ 社会移動数の転出超過を300人へ抑制

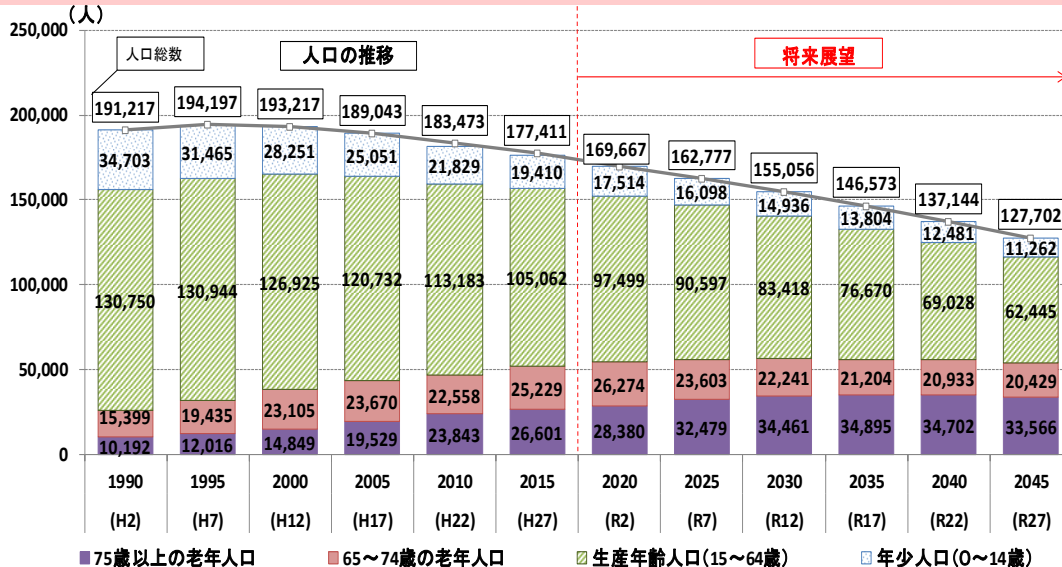
推計人口と将来展望人口の比較



人口の
将来展望

2045年
(令和27年)

127,702
人



	2020年 (R2)	2025年 (R7)	2030年 (R12)	2035年 (R17)	2040年 (R22)	2045年 (R27)
国立社会保障・人口問題研究所による推計人口	169,670	160,707	151,286	141,561	131,389	120,919
弘前市の将来展望人口	169,667	162,777	155,056	146,573	137,144	127,702

※2015(平成27)年までの人口総数には年齢不詳も含まれるため、年齢別の合計と一致しません。

出所: 国勢調査

【令和4年3月改訂】第2期 弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略《概要》

第1期総合戦略の成果と課題を検証し、 新たな視点を追加した5つの基本目標

①安定した雇用創出と くらしを支える地域産業の基盤整備

1. 就業・雇用環境の充実
 - ・ 学生等の地元企業への就職支援
 - ・ 多様な担い手の雇用の推進
2. りんご産業の持続的発展と新規就農者の確保
3. 地域を牽引する産業の育成と企業誘致
4. 広域連携による観光地域づくりの推進と外国人観光客の誘客促進

②弘前への新しいひとの流れと 次の時代を託す人材の育成

1. 移住・定住対策の推進
2. 地域を支える担い手の育成
3. 教育環境の充実と文化・スポーツ活動の振興
 - ・ 子どもたちの学びと育ちの環境づくり
 - ・ 文化・芸術活動とスポーツ活動の振興

⑤誰もがいきいきと活動できる 弘前ならではの快適なまちづくり

1. 市民との協働によるまちづくりの推進
 - ・ 市民と行政の協働による地域づくりの推進
 - ・ 学生による地域活動の推進
 - ・ 市民力の結集によるごみの減量化・資源化の推進
 - ・ 地域一体となった雪対策の推進
 - ・ 自助・共助による地域防災力の強化
2. 持続可能な都市の形成
 - ・ 地域特性を生かしたコンパクトシティの形成
 - ・ 公共交通ネットワークの形成
 - ・ 先端技術導入の推進
 - ・ 空き地・空き家対策の推進
3. 弘前ならではの魅力的なまちづくりの推進
 - ・ 文化財の公開・活用による魅力創出
 - ・ 弘前ならではの景観形成

③若い世代の結婚・出産・子育ての 総合的支援

1. 安心して妊娠・出産・子育てできる支援体制の充実
2. 地域全体で取り組む多様な子育て支援
3. 出会いの応援

④いのちを大切に協働による 健康長寿のまちづくり

1. 健康長寿の推進
 - ・ ところとからだの健康づくり
 - ・ 生活習慣病発症及び重症化の予防
 - ・ 地域における切れ目ない医療提供体制の実現
2. 高齢者福祉の充実

人口減少の抑制と地域経済の維持・成長を成し遂げる ⇒ 5年後の好循環へ

2020年度
(令和2年度)



2024年度
(令和6年度)

弘前市総合計画と一体的に取り組むことで人口減少対策・経済対策をさらに強化・加速

安定した雇用創出と暮らしを支える地域産業の基盤整備

▶ 市民（納税義務者）一人当たりの課税所得300万円を目指します。（2018年：2,763千円）

1. 就業・雇用環境の充実

■ 学生等の地元企業への就職支援

地元大学や地元企業と連携し、地元企業の情報発信及び採用活動を支援するとともに、大卒求人等の拡大に資する取組を展開することにより、地元大学生や高校生、首都圏在住の移住検討者や大学生等の地元企業への就職を促進させます。

- ・地元就職マッチング支援事業
- ・未来の弘前を支える人づくり支援事業
- ・多様な人材活躍応援事業 など

■ 多様な担い手の雇用の推進

高齢者や障がい者などの多様な働き方に対応できる企業の環境づくりとそのための継続的な支援を行います。また、就労経験の乏しい相談者に対し、一般就労に従事するための基礎能力の形成を支援するとともに、転入者も含めた創業希望者が創業を実現できるよう、創業・起業に向けたサポート体制を充実させます。

- ・就労移行支援事業
- ・生活困窮者就労準備支援事業
- ・創業・起業支援拠点運営事業
- ・ひろさきローカルベンチャー育成事業 など

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年)
求人充足率	25.5% (2017年)	30.0%
就職件数(弘前公共職業安定所管内)	5,524件 (2017年)	6,226件
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年)
相談支援から就労に結びついた人数	75人 (2017年度)	120人
就労している障がい者数	535人 (2017年度)	573人
創業件数	27件 (2018年度)	35件

2. りんご産業の持続的発展と新規就農者の確保

高品質かつ安定的なりんごづくりを守るため、生産、加工、流通等の技術革新等を推進するとともに、米や野菜等との複合栽培を含めた新規参入者が就農しやすい環境整備等に取り組みます。また、りんご黒星病に対して、放任樹の伐採処理等によるまん延防止対策などにも取り組みます。

- ・ひろさき農業新規参入加速化事業
- ・農作業省力化・効率化対策事業費補助金
- ・農業経営力向上支援事業費補助金
- ・りんご産業イノベーション推進事業
- ・農地利用効率化等支援交付金
- ・りんご生産アルバイト兼業推進事業 など

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年)
りんご販売額	418.6億円 (2017年度)	435.0億円
新たな取組にチャレンジする生産者、事業者数(累計)	13事業者 (2017年度)	35事業者
地域の農業経営を支える農業経営体数	1,495経営体 (2017年度)	1,647経営体

3. 地域を牽引する商工業の育成と企業誘致

ライフ関連産業や食産業等の生産力の向上や商品開発力・販売力の強化、産業人材の育成などを推進するとともに、企業誘致を進めます。また、伝統工芸産業の活性化及び中心市街地のにぎわい創出を図るための取組を実施します。

- ・ライフ・イノベーション推進事業
- ・食産業育成事業
- ・アパレル産業育成事業
- ・企業立地推進事業
- ・工芸品の販路拡大・販売促進事業
- ・中心市街地活性化推進事業 など

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年)
ライフ関連産業分野における新事業創出件数	1件 (2017年度)	10件
市内製造業の製造品出荷額等	3,842億円 (2017年度)	3,880億円
誘致企業件数・工場等新增設件数	7件 (過去10年間平均件数×5年間)	7件 (2020～2024年の累計)

4. 広域連携による観光地域づくりの推進と外国人観光客の誘客促進

「一般社団法人 ClanPEONY津軽」が主体となって観光客目線に立った観光地域づくりを推進します。また、東アジア圏のほか、誘客及び訪日旅行者が急増する東南アジア、欧米などへの市場開拓を図るとともに、来訪外国人が旅行しやすい環境整備等に取り組みます。

- ・津軽圏域DMO推進事業
- ・東アジア圏誘客プロモーション事業
- ・弘前市・台南市果物交流事業
- ・東南アジア等新規市場開拓事業 など

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年)
観光消費額	22,708百万円 (2017年度)	23,800百万円
外国人宿泊者数	38,132人 (2017年度)	40,000人

弘前への新しいひとの流れと次の時代を託す人材の育成

▶ 社会移動数の転出超過を300人まで圧縮します。（2015～2019年の最大値、最小値を除く平均値：477人）

1. 移住・定住対策の推進

転入者の更なる増加を目指し、地域に継続的で多様な形で関わる関係人口の創出・拡大につながる取組や弘前圏域移住交流専門員の配置を行うとともに、ひろさき移住サポートセンター東京事務所において、移住相談業務を継続します。

- ・弘前圏域移住・交流推進事業
- ・ひろさきU J Iターン促進事業
- ・弘前でつながる関係人口創出事業 など

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
ひろさき移住サポートセンターを經由しての県外からの移住者数(累計)	86件 (2018年度)	165件
移住お試しハウス体験件数(累計)	30件 (2018年度)	85件

2. 地域を支える担い手の育成

目まぐるしく変わる地域社会に柔軟かつ的確に対応し、持続的に発展していくため、地域を担う人材を育て、将来も活力ある地域づくりを進めます。

また、各分野の担い手不足に対応するために、小・中学生や高校生、大学生が地元の産業に触れる機会や企業を知る機会を創出し、地元の産業を担う人材を育成します。

- ・ひろさき未来創生塾
- ・地域産業魅力体験事業
- ・地域マネジメント人材育成プログラム構築事業 など

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
町会や公民館、学校やPTA、NPO・ボランティア団体、企業などの地域の活動や行事に参加している市民の割合	32.8% (2019年度)	35.0%
市内大学生の市内企業への就職率	8.8% (2017年度)	20.0%

3. 教育環境の充実と文化・スポーツ活動の振興

■子どもたちの学びと育ちの環境づくり

児童生徒一人一人への配慮を生かした指導を展開するとともに、子どもたちが読み解く力を身に付け、将来の夢や希望を抱き、国際化や情報化の進展など、社会の変化や技術革新等に対応できる教育の充実を図ります。

また、安全・安心で質の高い教育環境を整備します。

- ・ICT活用教育推進事業
- ・未来をつくる子ども育成事業
- ・教育自立圏構築推進事業
- ・小・中学校屋根改修事業 など

■文化・芸術活動とスポーツ活動の振興

多くの市民が文化・芸術活動に参加できる機会の創出を図るとともに、次代を担う人材の育成を図ります。

また、市民が気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備します。

- ・弘前市民文化祭共催事業
- ・一流芸術等文化イベント開催事業
- ・ソフトボール夢事業・ベースボール夢事業 など

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
弘前市の子どもにとって学習しやすい教育環境(教育に関する取組や学校施設など)だと思う市民の割合	45.3% (2019年度)	55.0%
「みんなで何かをするのは楽しい」と感じている児童生徒の割合	72.6% (2019年度)	75.0%

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
文化・芸術活動をしている市民の割合	26.1% (2019年度)	31.8%
月1回以上軽スポーツ、競技スポーツ、レクリエーションをしている市民の割合	24.7% (2019年度)	28.7%

若い世代の結婚・出産・子育ての総合的支援

▶ 出生率（人口1,000人当たり）を6.8に維持します。（2013～2017年の平均値：6.8）

1. 安心して妊娠・出産・子育てできる支援体制の充実

保健師・助産師・保育士等の専任相談員を配置したひろさき子育て世代包括支援センターが、妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対応し、切れ目のない支援を行います。

また、不妊治療を行っている夫婦の経済的支援や妊産婦に対する支援プランの作成などを行うとともに、支援が必要な子どもや保護者及び保育士等に対する療育・相談支援体制の充実を図ります。

- ・子育て世代包括支援センター事業
- ・1歳6か月児健康診査
- ・5歳児発達健康診査・相談事業
- ・不妊治療費助成事業
- ・3歳児健康診査
- ・ひろさき子どもの発達支援事業 など

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
育児不安を感じた時に対処する方法を知っている親の割合	96.6% (2018年度)	100%

2. 地域全体で取り組む多様な子育て支援

多様化する子育て世代の抱える問題に対し、相談体制の確保や、各種助成制度により、子育て世代に係る精神的・経済的な負担軽減に取り組み、安心して子育てができる環境を整えるとともに、延長保育や休日保育など多様な保育サービスの提供を進めます。

- ・特別保育事業（一時預かり、延長保育）
- ・病児病後児保育事業
- ・小児インフルエンザ・おたふくかぜ予防接種費用助成事業 など
- ・障がい児保育事業
- ・地域子育て支援センター事業

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
子育てに係る負担が軽減されていると感じる子育て世帯の市民の割合	28.8% (2018年度)	33.6%
幼児教育や保育サービスが整っていると感じる子育て世帯の市民の割合	41.4% (2018年度)	48.3%

3. 出合いの応援

独身者が恋愛・結婚に積極的に向き合えるよう支援し、結婚に関する意識の向上を図るとともに、独身者の出会いの場を創出し、直接結婚につながる施策に取り組むなど、結婚の増加・早期化を促進します。

また、独身者が結婚・出産・子育てなどライフプランを描けるように、ライフステージごとの情報をわかりやすくまとめて発信します。

- ・弘前めぐりあいサポーター出愛（であい）創出事業
- ・ひろさき子育てPR事業

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
婚姻率(人口1,000人あたり)	4.4 (2017年)	4.4

いのちを大切に協働による健康長寿のまちづくり

- ▶ 自らを健康だと思ふ市民の割合を86.7%まで高めます。（2019年度：75.5%）
- ▶ がんの標準化死亡比を男女とも100.0まで改善します。（2016年度：男125.7 女118.0）
- ▶ 心疾患の標準化死亡比を男女とも100.0まで改善します。（2016年度：男125.0 女106.8）
- ▶ 脳血管疾患の標準化死亡比を男女とも100.0まで改善します。（2016年度：男129.3 女116.6）
- ▶ 要介護認定を受けていない高齢者の割合を82.0%まで高めます。（2018年度：80.3%）

1. 健康長寿の推進

■ ころとからだの健康づくり

地域の健康づくりを推進する「ひろさき健幸増進リーダー」などと連携し、全市民的な健康寿命の延伸に取り組むとともに、従業員の健康増進に向けた取組を支援することにより企業における健康づくり活動を推進します。

- ・ひろさき健幸増進リーダー活動支援事業
- ・弘前市健康づくりサポーター制度
- ・健康づくりのまちなか拠点整備事業 など

■ 生活習慣病発症及び重症化の予防

子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に健康や食育に関する講座を開催や各種検診の強化と受診しやすい環境を整備するとともに、市民の健康状態の把握による生活習慣病等の発症及び重症化の予防を図ります。

- ・地域でまなぼう！食育講座いただきます
- ・がん検診受診率向上強化対策事業
- ・たばこの健康被害防止対策事業 など

■ 地域における切れ目ない医療提供体制の実現

新中核病院の安定的な運営を支援するとともに、医師確保対策を継続します。また、一次救急から三次救急までの医療体制を維持します。

- ・国立病院機構弘前総合医療センター（仮称）運営支援事業
- ・弘前市急患診療所運営事業
- ・医師確保対策事業負担金 など

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
健康づくり活動者数における実活動者数の割合	56.7% (2017年度)	61.7%
市、地域団体等が行う健康講座の参加者数	33,685人 (2018年度)	35,369人

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
喫煙率(20~39歳)	男38.7%(2018年度) 女18.0%(2018年度)	男33.8% 女14.5%
部位別がん検診受診率(胃・肺・大腸・子宮・乳)	胃13.6%(2016年度) 肺6.0%(2016年度) 大腸12.3%(2016年度) 子宮22.0%(2016年度) 乳21.0%(2016年度)	胃14.2% 肺6.7% 大腸16.2% 子宮27.5% 乳23.8%

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
複数の診療科の協働による高度・専門医療の提供	弘前市立病院 12診療科(2018年度) 国立病院機構弘前病院 18診療科(2018年度)	新中核病院 24診療科
休日・夜間救急診療体制対応日数	365日 (2018年度)	365日

2. 高齢者福祉の充実

高齢者の生きがいづくり、健康づくりを推進し、65歳以上の高齢者が、要介護状態にならないように高齢者健康トレーニング教室の開催等、介護予防活動の充実を図るとともに、地域の中で気軽に集える環境を整え、閉じこもりや孤立化を防ぎます。

- ・高齢者介護予防運動教室事業
- ・高齢者ふれあい居場所づくり事業
- ・弘前自立支援介護推進事業
- ・包括的支援事業 など

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値(2024年度)
生きがいを感じている高齢者の割合	61.0% (2019年度)	71.0%
高齢者介護予防運動教室事業に参加した市民の延べ人数	42,096人 (2019年度)	44,000人

誰もがいきいきと活動できる弘前ならではの快適なまちづくり

- ▶ 住みやすさに対する市民の満足度を63.0%まで高めます。（2019年度：58.0%）
- ▶ 冬期間における安全・安心な道路環境に満足している市民の割合を30.0%まで高めます。（2019年度：24.0%）
- ▶ 市民・町会・学生・企業等・行政がお互いに連携し、協力し合いながらまちづくりに取り組んでいると思う市民の割合を40.0%まで高めます。（2019年度：35.5%）

1. 市民との協働によるまちづくりの推進

■ 市民と行政の協働による地域づくりの推進

町会等の市民活動団体が、自らの地域を考え、自ら実践することにより、地域の課題解決や地域の活性化につながる活動を「市民参加型まちづくり1%システム支援事業」で支援するほか、「協働によるまちづくり基本条例」を市民に広く周知し、協働によるまちづくりを推進しながら「市民力」による魅力ある弘前を目指します。

- ・市民参加型まちづくり1%システム支援事業
- ・町会担い手育成事業
- ・協働によるまちづくり基本条例関係事業 など

■ 学生による地域活動の推進

市内の各大学、専修学校、高等学校及び市内各大学で構成する「大学コンソーシアム学都ひろさき」と連携し、弘前で学ぶ若者が地域活動に参加する機会を積極的に創出し、学生による地域づくり活動の活性化を図ります。

- ・大学コンソーシアム学都ひろさき活性化支援事業
- ・地域マネジメント人材育成プログラム構築事業（再掲） など

■ 市民力の結集によるごみの減量化・資源化の推進

市民・事業者・行政がお互いに連携協力する取組を進め、市民の意識醸成を図り、市民力を結集し、市民との協働により創意工夫を図りながら、ごみの減量化・資源化に取り組めます。

- ・ごみ減量等市民運動推進事業
- ・3キリ運動推進事業 など

■ 地域一体となった雪対策の推進

自助・共助・公助による除排雪活動の取組を推進し、市民・事業者・行政が一体となった効果的できめ細やかな雪対策に取り組めます。

- ・除排雪事業
- ・地域除排雪活動支援事業 など

■ 自助・共助による地域防災力の向上

自助・共助・公助の各面から、防災マイスターの育成や防災教育に取り組むとともに、自主防災組織の組織化を進め、総合的な地域防災力の強化・向上を図ります。

- ・防災まちづくり推進事業
- ・自主防災組織育成支援事業

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
市民参加型まちづくり1%システム支援事業における新規事業の採択数(4年間の平均値)	27件 (2018年度)	30件
重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
市内各大学における地域活動学生参加人数	1,563人 (2019年度)	1,953人
大学が実施する公開講座や学園祭への参加、教員や学生との交流、図書館等の施設の活用などしている市民の割合	15.0% (2019年度)	20.9%
重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
ごみの減量化・資源化の取組に関する協定締結団体数	2団体 (2018年度)	20団体
オフィス町内会加入団体数(弘前市)	297団体 (2018年度)	500団体
重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
新たな除排雪に係る具体的施策として取り組む施策件数	0件 (2019年度)	10件
共助による生活道路の除排雪等を行う団体(町会など)の延べ数	53団体	69団体
重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
小学校区域内に自主防災組織がある小学校区の割合	73.5% (2018年度)	100%
消防団充足率	92.4% (2018年度)	100%

2. 持続可能な都市の形成

■ 地域特性を生かしたコンパクトシティの形成

立地適正化計画に基づき、良好な住環境を維持しつつ、都市機能の適切な誘導と居住誘導を進め、コンパクトで秩序ある土地利用・都市整備を進めます。

また、中心市街地活性化ビジョンに基づき、魅力ある街づくりを進めるため、土手町地区や駅前地区などの拠点となる地域の特色を生かしながら、拠点間の連続性や回遊性の向上を図るとともに、中心市街地にさらなる賑わいを創出します。

- ・立地適正化計画推進事業
- ・地域まち育て活動推進事業
- ・歩きたくなるまちなか形成事業 など

■ 公共交通ネットワークの形成

公共交通ネットワークの再編と利用促進により、公共交通への転換を進めるとともに、運転免許自主返納者を含む高齢者等に配慮した利用促進のための取組を進めます。

また、定住自立圏の構成自治体と連携して公共交通の利用促進および利便性の向上に努めます。

- ・地域公共交通ネットワーク再構築事業
- ・地域公共交通確保維持事業
- ・弘南鉄道維持活性化事業
- ・まちなかお出かけパス事業

■ 先端技術導入の推進

官民を問わず、AI、IoT、RPAなどの先端技術に関する社会動向や最新技術に関する情報を収集し、先端技術や近未来技術の活用可能性を検討していくとともに、周辺市町村と情報共有を行いながら、地域全体の持続的な発展を目指します。

- ・AI・IoT・RPA等先進技術導入検討事業
- ・製造業IT導入支援事業

■ 空き家・空き地対策の推進

空き家・空き地対策では、その現状把握を進めるとともに、「弘前市空き家等の活用、適正管理等に関する条例」及び「弘前市空き家等対策計画」に基づき、空き家の発生予防や適性管理を行うほか、空き家・空き地バンクを定住自立圏の広域で連携し利活用の促進を図ります。

- ・空き家・空き地対策推進事業

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
居住誘導区域内の人口密度	47.7人/ha (2015年度)	47.7人/ha
中心商店街の空き店舗率	8.8% (2017年度)	6.5%
中心市街地の通行量	15,376人 (2017年度)	23,000人

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
公共交通の利用者数	4,606千人 (2014年度)	4,789千人

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
RPA導入事業数	3事業 (2019年度)	18事業

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
空き家・空き地の利活用数	73件 (2018年度)	180件
危険・老朽空き家に対する措置数	46件 (2018年度)	220件

3. 弘前ならではの魅力的なまちづくりの推進

■文化財の公開・活用による魅力創出

弘前城をはじめとする津軽氏の城跡などを計画的に整備するとともに、伝統的建造物群保存地区に現存する文化財建造物を、市民や観光客に対し公開するほか、利活用も促し、歴史や文化に触れる機会を提供します。

- ・文化財施設公開事業
- ・史跡等公開活用事業
- ・大森勝山遺跡公開活用事業
- ・重要文化財修理等事業補助
- ・弘前城本丸石垣整備事業
- ・鷹揚公園整備事業
- ・旧第五十九銀行本店本館整備活用事業 など

■弘前ならではの景観形成

現在の都市機能の向上を図りながら、長い歴史を背景に形成されてきた美しく風格のある弘前ならではの景観と街並みを保全し、将来に引き継いでいくとともに、市民が誇りに思い、観光客から親しまれる良好な景観を形成し、地域の活性化を図ります。

- ・景観形成・魅力発信事業
- ・景観重要建造物保存・改修費助成事業
- ・近代建築ツーリズム推進事業

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
文化財(建造物・史跡・名勝)を訪れたことのある市民の割合	44.1% (2019年度)	53.0%
郷土弘前の歴史と文化遺産に親しみを感じている市民の割合	68.4% (2019年度)	71.8%

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (2024年度)
弘前の景観の魅力についての満足度	62.6% (2019年度)	71.3%